

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 帯広かわにし地区

1. 事業の概要（案）

【事業の目的】

本地区は、地域に広がる火山性土壌の影響により、春先の風害発生や水分不足による農作物の生育障害が発生している。また、地区内の排水路は、降雨時には部分的に流下断面が不足し、農地では湛水被害が発生し効率的な農作業が行えない状況となっている。

このため、畑地かんがい用水の供給と排水整備を行い、土地生産性の向上と農業経営の安定を図り地域農業の振興に資するものである。

【主要工事の概要】

・受益面積	・主要工種
7,465ha	揚水機：1箇所
	用水路：21条 L=143.1km
	排水路：1条 L=2.8 km

2. 地域の環境に対する考え方

（帯広市田園環境整備マスタープランより）

【現 状】

十勝平野のほぼ中央に位置し、日高山麓の広大な森林と十勝川・札内川に恵まれた、四季の変化に富んだ気候と豊かな自然が特徴

【課 題】

すぐれた自然、残された自然の保全とともに、自然と共存したよりよい生活環境の整備、自然を活用した開発計画、自然環境の再生復元が課題

3. 環境配慮のための環境調査

【環境に関する基本的考え方】

畑地かんがい施設の整備により、農作物の品質及び生産性の向上を図るとともに、山林～河畔林・防風林～市街地と連続性を持った地域の自然環境や景観を保全する。

【基本方針】

- ・地区の動植物の生息・生育状況を把握するため、既往調査成果を踏まえて現地調査を実施する。
- ・工事実施中における水質への影響を確認するため、工事実施前のデータ収集として、水質調査を実施する。

【調査内容】

○調査対象：哺乳類、鳥類、魚類、昆虫類、底生動物、植物、水質

○調査方法

- 哺乳類：目撃法、フィールドサイン法
- 鳥類：ポイントセンサス法
- 魚類：採捕調査
- 昆虫類：任意採集法、ベイトトラップ法、ライトトラップ法
- 底生動物：定性採集調査
- 植物：植物相調査
- 水質：SS、濁度